

## 005 晴天待ちの移動

### ● 9月14日(土) 移動(雌阿寒温泉から鹿追へ) 天気・雨のち晴れのち曇り

・朝6時起床。昨夜激しく降った雨は殆ど止んでいるが、時々ザーと降ってくるので朝食は車内でとることにした。台風が近付いており、関東を直撃して16日に北東へ抜けて行くという。進路によっては今いる北海道に影響がある。いま降っている雨も台風の影響だろうか。天気予報では19日から天気が安定するという。残念ながら20日朝に小樽港を出港するフェリーを予約してあるので、行動できるのは17、18、19日の3日だけだ。19日はお土産を買いに千歳空港へ行かねばならず、結局山に行けるのは17日と18日の2日だけだ。今回秋に来た目的は紅葉と鮭の溯上を見るため。16日に台風が抜けたら17日は台風一過の天気が期待できる。まず17日に大雪山の紅葉を見に赤岳に登ることにし、いつもの層雲峡YHに16日夜を予約した。あとは天気の良い事を祈るだけだ。雨では山に登れないので雨の合間をぬって、いつも使わせてもらっている道向こうの百年公園の水道で洗濯をし、車内の改装をしたり、日記をつけたり、これからの行動予定を立てたりして過ごした。

・土幌温泉で停滞していても面白くないので、今日は鹿追泊まりと決めて10時過ぎに雨のぱらつく中鹿追へ向けて出発した。鹿追はすぐ近く、のんびり走っても12時前に道の駅「しかおい」に着いてしまった。小雨が降っているので車内で昼食をとり、さてこれからどうしようか。そうこうしているうちに雨がやんで雲が切れてきた。お日様が顔を出し気温がぐんぐん上がってきた。

・晴れたので今朝土幌でやってきた洗濯物を干し、ベッドを加工して少し長くし、車内の掃除をしたりしているうちに、なんと快晴になった。日差しが暑いので木陰のベンチに座って本を読んだり、のんびりした。午前中は「敬老祝賀会」とやらがここにある施設で行われていて、お年寄りや家族が一杯。みんな車で来ているので広い駐車場が満杯だったが、祝賀会が済んでみんなが帰ったので、5時近くの現在、車は殆どいなくなった。夕食を済ませ7時過ぎに寝る時には、広い駐車場に車がポツポツ、10数台しかいなかった。



昼間あんなに良かった天気もすっかり曇り空になった。台風の影響だろうか。

### ● 9月15日(日) 移動(トマムへ遊びに行き土幌温泉に戻った) 雨

(今日は大雨のため写真が無い)

・朝5時半起床。外は曇っている。広い駐車場なのであまり目立たないが、それでも15、6台の車が泊まっているようだ。明日16日(月)は敬老の日で、今日は3連休の中日だから多いのだろう。雨が降っていないので外で朝食をとれるのがありがたい。お決まりの牛乳、サンドイッチ、野菜サラダに最後にコーヒーで締める朝食を済ませ、なんとなくボーとして時間を過ごす。天気が悪くてやることもないのでトマムへ遊びに行くことにし、9時すぎに鹿追を後にした。

・狩勝峠を越えるあたりから雨が降りだし雨の中トマムに着いた。雨続きだというのに3連休だけあってトマムはお客さんで一杯だ。ホテルの中に入り懐かしい渡り廊下を奥の方まで歩いてみたが、むかし歩いた面影がなんとなく感じられない。ずいぶんいろいろ変えてあるようだ。

・着いた時は小雨だったが外を見るとものすごい暴風雨、とても外へ出られそうもない。小雨になるまで時間をつぶそうと、お土産を買ったり、中を歩き回ったりしたがいっこうに風雨は収まる様子が無い。フロントの案内のお兄さんに「昔泊まって懐かしい、カニのバイキングを腹いっぱい食べた」と云ったら「昔からは大分変っていて、カニのバイキングは今はやっていない。現在の星野リゾートになってからは、大衆化して客を増やし、経営も安定化してきた。」とのことだ。12時近くになったが風雨はいよいよ強くなり、止むどころか通行止めで帰れなくなったら大変と思い、気休めの笠をさしてずぶ濡れになりながら駐車場まで歩きの車の中に飛び込んだ。

・とにかく狩勝峠を越えて東側へ行けば何とか安心できるだろうと、豪雨の中ワイパーをフルに回して狩勝峠へ急いだ。案の定狩勝峠を越えたら雨が小降りになり、助かった！今朝出発した道の駅「しかおい」によって少し休んでから、小雨の中、道の駅「しほろ温泉」に戻ってきた。今日はここで泊まり明日は層雲峡へ行く。一昨日止めたと同じ場所に車を止め宿泊の準備をした。周りの車のナンバーを見ると川崎、習志野や関西ナンバー等々いろいろなところから来ていて、沢山の車が止まっている。

・お隣の習志野ナンバーの車は、女性（おばさま）の一人旅。家族を残して放浪の旅を1ヶ月位しているという。私も北海道の放浪を5年もやっているが、女性の一人旅には初めて会った。いるものだな！「道向こうに水道があって、炊事洗濯に便利だよ」と教えてあげたら喜んでくれ、あんみつを頂いた。風呂に入り、まだ5時だが外は小雨が降っているしやることないので、ビールを飲み始め、残り物で夕食とし早々と寝てしまった。

明日は台風が関東を直撃するらしい。 こっちに来るかな？

## ● 9月16日(月・敬老の日)      移動(早雲峡YHへ)      雨・台風接近

・5時半起床、外は雨。昨夜泊まった車は10数台にオートバイが1台。足湯の屋根の下にテントを張って寝ている。雨に濡れないし、うまいことをしていやがる！車の中で朝食をしたが、助手席のレターケースを利用して食卓を作ったのが実に便利。コーヒーも湧かせる。朝食後雨がやんだのですかさず道向こうの百年公園の水道で洗濯を済ませ帰ってきたらまた雨が降り出し、今度は本降りになってきた。テレビを見ると現在台風が愛知県の岡崎に上陸し、静岡県を直撃する状態だという。台風からの雲が尻尾のように伸びて北海道までかかっている。隣の一人旅のおばさんが、ぜんざいとトマトジュースを差し入れてくれた。



ありがたく頂いて、テレビで台風状況を見たりこれからの計画を練ったりして時間をつぶし、10時をまわったのでそろそろ移動でもかけようか、外は相変わらず降り続けている。隣のおばさんに丁寧に挨拶をして一路糠平へ向かって土幌温泉を後にした。おばさんはここで停滞を決めたのか米をといでいた。

・糠平に着いて驚いた。いつも車を止めているし、泊まったこともある公衆トイレの前の広い駐車場に「東大雪自然館」なる立派な博物館が立っているではないか？ 去年は無かった。今年の5月に出来たばかりだとのことで、まだ木の香りがいっぱい、広くて贅沢な建物だ。上土幌町と環境省が共同で建てたらしいが、中にはこれと云って見るものなく、昆虫やヒグマのはく製が置いてあるだけ。学芸員が2人も居る。でかい箱物を作って駐車場をつぶしてしまった。無駄遣いもいい所だ！

・雨の三国峠を越えて層雲峡へ向かった。銀泉台入口にパトロールの人がいたので、明日はまだ交通規制はなく銀泉台まで車が入れることを確認し安心。雨は一段と強くなり、篠突く雨のなか 13 時に層雲峡ユースホステルに飛び込んだ。チェックインは 15 時なのでまだ 2 時間もある。まず風呂に入り

たい。このユースホステルはホテル大雪とホテル朝陽館とに契約しているので、どちらのホテルの風呂も 500 円で入れる。今回は目の前のホテル朝陽館に行った。7F の展望風呂「黒岳」は層雲峡を見下ろすまさに絶景！風呂はバカでかくカラが 30 基もある。おまけにこんな広くて綺麗で絶景の風呂に誰もいない、私一人で独占。500 円とは安い。3 時にチェックインを済ませ 103 号室の 8 人部屋(真ん中通路で両側 2 人の 2 段ベッド)に落ち着いた。広島のお兄さんとフランス人のお兄さんと 3 人だ。



今夜の宿 103 号室

・6 時半にやっと食事の用意が出来、食堂へ行ったが、毎年夕食を取っている宿泊客はあまりいないのに、今年はなんと 20 人以上もいて満席だ！団体で泊まっているのが 3 組くらいあり、彼らみんな食事つきで泊まったらしい。私の席は偶然にも同じ部屋の宮崎のお兄さんとフランスのお兄さんの 3 人が同席になった。フランスのお兄さんはパリの南の方の町に住んでいる、明日は阿寒の方に行くと言っているが、日本語がほとんど分からず、会話が続かなかった。



年々質の落ちる夕食

・ここの夕食は年々質が落ちて行くようで、今年はかなり貧弱な夕食だった。ビールを 2 缶明けて 7 時半過ぎにはベッドインした。外は台風の影響で依然として暴風雨。今夜中には抜けるというので、明日は台風一過の快晴を期待して・・・。

明朝は赤岳に登る。早く起きるぞ。